



みどり
水土里ネット香川

香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町二丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



コスモス畑 (さぬき市)

目 次

1. 第 39 回全国土地改良大会石川大会開催	2~3
2. 中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議開催	4
3. 世界農業遺産認定を目指して～さぬきのため池システム～	4
4. 平成 28 年度水土里情報利活用促進協議会総会開催	5
5. 小学校へ出前授業 ～香川用水土地改良区～	6
6. 土地改良区だより 観音寺市柞田土地改良区	7
7. 会と催し	8

第 39 回全国土地改良大会石川大会開催

「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ」



10 月 25 日、石川県金沢市のいしかわ総合スポーツセンターにおいて、第 39 回全国土地改良大会石川大会が開催された。この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、関係者の総力を挙げて我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的に開催されている。

今年、加賀百万石の地石川で「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ」をメインテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約 4,300 名が参加した。

式典は、開催地である水土里ネット石川の西村徹会長の挨拶で始まり、主催者を代表して全国水土里ネットの二階俊博会長から挨拶。続いて、谷本正憲石川県知事及び山野之義金沢市長から歓迎の挨拶。さらに、磯崎陽輔農林水産副大臣及び都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子参議院議員から祝辞が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰 6 名、農林水産省農村振興局長表彰 16 名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰 46 名が表彰された。本県からは、多度津町土地改良区理事長（本会理事）の佐々木勇氏が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された。



水土里ネット石川 西村徹会長



全国水土里ネット 二階俊博会長



全国土地改良事業団体連合会長表彰
多度津町土地改良区
理事長 佐々木勇 氏

基調講演では、農林水産省の室本隆司農村振興局次長から「国土と未来を築く土地改良」、石川県立大学の丸山利輔参与からは、「石川ゆかりの農業農村を支えた先達」と題して講演があった。

続いて、北陸の土地改良事業優良事例地区紹介があり、新潟県から柏崎土地改良区、富山県から黒部川左岸土地改良区、福井県から九頭竜川鳴鹿堰堤土地改良区連合からそれぞれ説明があった。

引き続いて、石川県立大学生物資源環境学部環境科学科 1 年の金平健世さんと川向七海さんにより、「水土里の明日を築く土地改良 今こそ未来へつなぐ」を合い言葉に、石川から高らかに大会宣言された。

最後に西村会長から高貝全土連副会長、高貝副会長から次期開催県である水土里ネット静岡の伊東真英会長へと大会旗が引き継がれ静岡県の紹介の後、水土里ネット石川の酒井悌二郎副会長の閉会の挨拶をもって、大会は盛会裏に閉会した。



祝辞を述べる磯崎陽輔農林水産副大臣



祝辞を述べる進藤金日子参議院議員



石川県立大学生による大会宣言



高貝全土連副会長から次期開催県の
静岡県伊東会長へ大会旗引継ぎ

中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議開催

10 月 20 日、岡山県岡山市のピュアリティまきびにおいて、中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議が開催され、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子参議院議員及び農林水産省農村振興局整備部設計課の川村文洋計画調整室長を招き、中国四国農政局幹部職員及び中国、四国各県水土里ネット役職員の 31 名が出席した。

中国四国農政局の坂井康宏局長から土地改良関係予算や管内の農業情勢等を含めて挨拶をいただいた後議事に入り、進藤議員から「土地改良関係予算について」、川村計画調整室長から「新たな土地改良長期計画の概要」と題して説明をいただいた。

その後、各県の土地改良事業の推進の取組状況について報告、協議を行い、事務責任者会議は盛会裏に閉会した。



進藤金日子参議院議員

世界農業遺産（G I A H S）認定を目指して ～さぬきのため池農業システム～

世界農業遺産は、社会や環境に適応しながら、何世代にもわたり形づくられてきた伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれた文化、ランドスケープ、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農林水産業システムを国連食糧農業機関（F A O）が認定する仕組みである。現在、世界で 15 ヶ国 36 地域、日本では 8 地域が認定を受けている。

香川県は少雨で日照時間が長く、古くから干ばつに悩まされてきた。限られた水を有効に利用するため、厳格な水利慣行を駆使し、全国一高密度な“ため池ネットワーク”を構築し、農業基盤を築いた。また、瀬戸内式気候と狭い土地を最大限利用した二毛作が広がり、麦やレタスなど多様な農作物を栽培する複合経営により持続的な農業が営まれている。こうした「ため池農業システム」は、地域経済と雇用への貢献はもとより、生物多様性の保全、祭事・行事の継承、うどん文化の発展など今後も持続すべき重要な価値を有している。



香川県の農業遺産シンポジウム

香川県では、世界農業遺産認定への取り組みとして、8 月 17 日香川県社会福祉総合センターにおいて「農業遺産申請に向けた勉強会」、9 月 20 日香川県社会福祉総合センターにおいて「さぬきのため池農業システム農業遺産推進協議会」設立総会、また 10 月 20 日ホテルパールガーデンにおいて「香川県の農業遺産シンポジウム」を開催した。このシンポジウムには県内から約 120 名が参加し、本県が世界に誇る農業・漁業両システムである、「さぬきのため池農業システム」と「引田地区魚類養殖業」の遺産的価値を広く県民に発信した。

なお、15 県 19 地域からの申請を受け、世界農業遺産等専門家会議において現在書類審査が行われており、11 月下旬に審査結果が発表される見込みである。

平成28年度香川県水土里情報活用促進協議会総会開催

10月7日、丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス)において、県、市町、土地改良区、県農業協同組合、県農業会議、農業委員会、県農業共済組合、県農地機構など会員79団体、91名の出席のもと、平成28年度香川県水土里情報活用促進協議会総会が開催された。

総会は、山地協議会長(本会常務理事)の開会挨拶の後、来賓の中国四国農政局農村振興部地域整備課山田課長、香川県農政水産部農村整備課井川課長から挨拶を頂いた。

その後、議事が行われ、上程された次の3議案が原案のとおり承認された。

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号議案 | 役員の選任について |
| 第2号議案 | 平成27年度事業報告について |
| 第3号議案 | 平成28年度事業計画について |

また、事務局から会員の市町へ筆図、農業振興地域図、オルソ画像等の最新データ提供をお願いした。

引き続き、丸亀市綾歌町土地改良区の竹内事務局長及び本会の高橋係長から水土里情報の活用事例発表があり盛会裏に閉会した。

【事例発表】

①「水土里情報の活用について」

丸亀市綾歌町土地改良区 事務局長 竹内正義

1. 水土里情報データ(ため池、農道、ほ場整備、農地筆図)等の表示
2. 編入地区の土地改良施設の調査及びGIS化
《今後の展望》
 - ・「土地台帳」と「水土里情報の農地筆」を結合し、地図上に組合員名や水系情報を表示
 - ・多面的機能支払対象エリアの把握(市が作成している「協定対象区域図面」との連携)

②「土地改良体制強化基本計画に伴う施設管理について」

丸亀市綾歌町土地改良区 竹内事務局長
香川県土地改良事業団体連合会 事業課 係長 高橋和久

☆土地改良区組織運営基盤・事業実施体制強化の集中的な取組としての「土地改良区体制強化基本計画」作成の注意事項について

☆水土里情報システムを活用した施設台帳整備の進め方を紹介



中国四国農政局農村振興部地域整備課 山田課長



香川県農政水産部農村整備課 井川課長



丸亀市綾歌町土地改良区 竹内事務局長

小学校へ出前授業～香川用水土地改良区～ 香川用水クリーンアップ大作戦'16

水土里ネット香川用水は、21 世紀土地改良区創造運動の一環として、幹線水路の施設点検整備のため通水を停止するこの時期に水の大切さと香川用水の役割をテーマに、毎年県内の小学校において出前授業と清掃活動を実施している。この出前授業は平成 15 年度から始まり、「時代とともに歩む土地改良区」を目指して、幹線沿いの小学校 4 年生を対象に毎年約 20 校で行っている。

10 月 28 日、三木町立氷上小学校（井口和久校長）の 4 年生 3 クラス、81 人の児童を対象に、香川用水土地改良区の職員が講師となり、水の重要性や香川県特有の水事情や歴史、香川用水の役割などについて授業が行われた。授業はクイズを交えて楽しく行われ、児童たちは積極的に挙手し、メモを取りながら熱心に講師の話に聞き入り、水の大切さを学んだ。その後、小学校近の氷上第 1 開水路に移動し、普段は立ち入ることのできない水路に入って清掃活動を行った。小雨の降るなかではあったが、実際の土地改良施設に触れることができる、貴重な体験となった。

なお、水土里ネット香川用水では、職員が交代で教壇に立ち、今年は 6 月から 11 月にかけて、6 市 1 町 20 の小学校で出前授業を実施し、822 人の児童に水の大切さを呼び掛けた。



教室内で教鞭をとる改良区職員



クイズに積極的に答える児童たち



歩きながら水路を清掃



施設を間近に見て説明を受ける

～土地改良区だより～

観音寺市柞田土地改良区（観音寺市）

観音寺市柞田土地改良区は、観音寺市の南西部に位置し、地形は標高 6m～10m でほぼ平坦な地域である。気象はかんがい期においては平均気温 24.8℃、平均降水量 571.0mm、非かんがい期においては平均気温 11.5℃、平均降水量 583.0mm と瀬戸内式気候に属しており、温暖寡雨である。

水利状況は、現在では香川用水の導入により水の便は満たされており、稲作を主体として、裏作にレタス、ブロッコリーを中心に野菜の作付けを行っている。

管内にある広庄池は寛文 9 年（1670 年）頃、大野原地区残水、野上沢出水より流れていた水を防災と灌漑、干ばつ解消のため、地区住民が一致団結して築造した。以来先人達が何度となく水害、改修に苦労を重ねていたが、平成 10 年度から平成 13 年度にかけて、国営総合農地防災事業による老朽ため池改修工事を総事業費 183,009 千円で実施した。環境を重視した工事がなされ、パイプラインのサイフォンの地下化が実現し、環境と美観にマッチした近代的な池に生まれ変わった。



広庄池とほ場整備



広庄竣工記念碑

また地元の強い熱意により、平成 3 年度から平成 20 年度にかけて油井大塚地区、山田大畑地区、広庄地区を実施し、32ha が整備され、区画整理により生産性の高い汎用農地に転換するとともに、用水のパイプライン化を図り、営農労力の省力化、農地の集団化を図ることができた。これを契機として、平成 29 年度からほ場整備事業を 2 地区実施しようしているところである。また土地改良区管内のほとんどのエリアで、多面的機能支払交付金事業を実施しており、農地や農業用施設など先人達の遺産を守り、環境保全にも積極的に取り組んでいる。



秋山忠敏 理事長

土地改良区の概要

所在地	観音寺市坂本町一丁目 1 番 1 号
設立年月日等	昭和 29 年 2 月 24 日 香川県第 169 号
関係市町	観音寺市
管内農地面積	278ha（田 269ha、畑 9ha）
組合員数	783 人（総代 43 人）
役員数	理事 11 人、監事 3 人

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
10 月 12 日	中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	愛媛県
10 月 13 日	豊浜町土地改良区役員研修会	観音寺市
10 月 17 日	平成 29 年度農業農村の振興施策に関する説明会、意見交換会	高松市
10 月 18 日 ～19 日	国際協力機構（JICA）課題別研修「アフリカ地域総合災害対策」	高松市
10 月 20 日 ～21 日	中国四国土地改良事業団体連合会技術部会	岡山県
10 月 20 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議	岡山県
10 月 20 日	香川県の農業遺産シンポジウム	高松市
10 月 23 日	本会職員採用第二次試験	高松市
10 月 24 日 ～28 日	実践技術研修ストックマネジメントコース （コンクリート水路・施設機械）第 2 回	岡山県
10 月 25 日	第 39 回全国土地改良大会石川大会	石川県
10 月 28 日	香川県農業会議常設審議委員会	高松市
10 月 31 日 ～11 月 2 日	仲多度土地改良事業推進協議会現地研修	北海道
11 月 1 日 ～2 日	土地改良施設の整備補修事例検討会	島根県
11 月 7 日 ～9 日	三豊地区土地改良協議会現地研修	滋賀県
11 月 9 日 ～10 日	疏水ネットワーク通常総会、疏水フォーラム in 道前道後用水 2016	愛媛県
11 月 10 日	農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に係る連携に関する協定締結式	高松市

